

くらし

「第13回タバコか健康か世界会議」に参加して

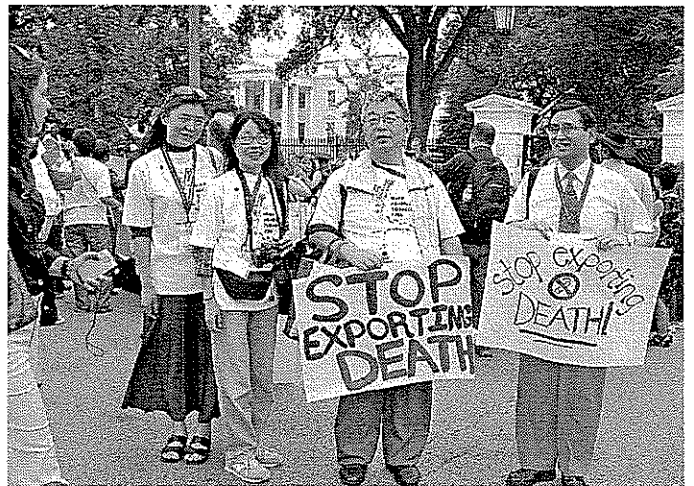
三年に一度の禁煙推進の世界会議(第十三回タバコか健康か世界会議)が、米国・ワシントンで七月十二日から四日間開かれた。私は一九九七年の北京大会から連続四回目の参加であったが、今大会は各国の喫煙対策が注目を集めたことはなかった。参加者は百三十余国から四百人を超え、医療や政府関係者、NPO(民間非営利団体)活動家、法律家など多種多様な立場の人たちであった。

会議の最大の話題は、世界保健機関(WHO)が昨年二月に発効させた健康に関する初の国際条約、タバコ規制枠組み条約(FCTC)であった。日本も批准国であり、FCTC全文の翻訳が外務省のホームページから閲覧できる。

WHOは、特に女性と発症途上国での喫煙率上昇を放置すれば、タバコ関連病死者は世界で現在の年間五百万人から、二〇二〇年には一千万人にも達すると警告した。そしてFCTCの徹底実施により、五〇年までに合計二億人のタバコ犠牲者を救えると力説した。

# 完全禁煙が世界の常識に

寄稿 日本禁煙学会理事・蘭潤



## 日本は地方などからも推進を

またWHOは、百三十万人口以上、世界人口の約80%をカバーするまでになったFCTC批准国内での誠実な条約実行の重要性を強調し、非批准の約六十カ国(米国、インドネシア、ロシア、インドネシア、ロシアなど)には早期批准を促した。閉会式では二〇〇九年のムンバイ大会(インド)までに、すべての国がFCTCを批准・施行・評価すべきとする大会宣言が採択された。

米国ではカリフォルニア州が一九九五年にほとんど全職場の完全禁煙を実施し、九八年にはバーなどの職場も禁煙とする法律を施行し、FCTCに大きな影響を与えた。ニューヨーク、アイルランドは、FCTCをモデル国家として称賛され、パブなどの酒場も含む全職場の完全禁煙を実施している。この世界で最初の国となったアイルランドは、FCTCの成功は、関連病の死者は年間十二万人に上り、受動喫煙(他人から吸われるタバコ煙)の被害も深刻だ。日本も禁煙先進国を見習い、FCTCにのっとり包括的にタバコ規制を進めるべきである。根本的には財

「タバコのない社会を! ドナーカードをもとう!」

兵庫県喫煙問題研究会(1) 副会長  
日本禁煙学会(2) 理事  
日本公衆衛生学会 評議員

その 蘭 潤  
産業医

電話: 090-3056-2232 メール: jsono@mse.biglobe.ne.jp  
URL (1): http://notabako.hp.infoseek.co.jp  
URL (2): http://www.nosmoke55.jp

西宮市保健所

その 蘭 潤  
所 長

〒652-0655 兵庫県西宮市江上町3番26号  
電話 (0798) 26-3679  
FAX (0798) 33-1174  
E-mail: junsone@nishi.or.jp

その じゅん 1975年、京都大学医学部卒業  
元・神戸市立中央市民病院胸部  
外科参事。現在、日本禁煙学会  
理事、兵庫喫煙問題研究会副  
会長、西宮市保健所長などを務  
める。著書に「モク殺モク殺せ  
ずー病院でタバコと戦う」(神戸新聞総合出版セン  
ター)など。

# 受動喫煙 タツグで防止

## 世界禁煙デー賞 瀬尾さん、菌さん輝く

世界保健機関(WHO)の世界禁煙デー賞に兵庫県問題研究会の名譽会長で医師、瀬尾攝さん(77)と同副会長で西宮保健所長、菌潤さん(58)が決まり、21日、県中央労働センター(神戸市中央区)で表彰式があった。受賞後、菌さんは「いっそう受動喫煙防止を訴えていきたい」と意気込んでいた。

50年前、瀬尾さんが医師(耳鼻科)になって初めて担当したのがヘビースモーカーの喉頭がんの患者だった。「なぜ喫煙をやめないのだ」と強発の恐れのあるガス臭い

煙を吸っていた。このとき、たばこを吸っている人々を見て、「これは病氣だ」と実感した。そんな人が10年、脳卒中で倒れた瀬尾さんの入院先の病院で出会い、禁煙活動の大切さについて意気投合。13年に喫煙問題研究会を設立した。

2人は研究会の活動を通じて、禁煙を実施していない小学校や病院などに受動喫煙防止を呼びかける「イエローカード」約13万枚を配布、受動喫煙防止を訴えてきた。

煙防止を訴えてきた。

また、日本がたばこ規制枠組み条約(FCTC)を批准した17年からは、日本国内での同条約への理解を深めようと同条約の規約を記したカードを配布する「ピンクカード運動」も始めていた。

たばこの健康被害の改善に貢献した個人や団体に贈られる今回の世界禁煙デー賞受賞について菌さんは「これまで努力してきたことが認められてうれしい。国際的な賞を頂いたことで周囲にもいっそう受動喫煙防止を訴えていきたい」と話していた。



世界禁煙デー賞を受賞した瀬尾攝さん(車いす)と菌潤さん(左)＝県中央労働センター

### 瀬尾さんら2人 世界禁煙デー賞

WHOが表彰

禁煙推進や受動喫煙防止を訴えてきた尼崎市のNGO「県喫煙問題研究会」名譽会長の医師、瀬尾攝さん(77)＝西宮市＝と同副会長の医師、菌潤さん(58)＝尼崎市＝が21日、世界保健機関(WHO)から贈られた「世界禁煙デー賞」の表彰を受けた。同賞の県内受賞は初めて。



菌潤さん



瀬尾攝さん

# 論

日本禁煙学会理事

潤 蘭

一九八〇年、WHO(世界保健機関)の枠組条約(FCTC)が、健康に関する初の国際条約として発効して本年で丸三年を迎えた。日本を含む世界百五十カ国以上が批准したこの条約は、地球温暖化防止の京都議定書と同様に重要である。

WHOは、たばこ関連病のために世界で五百万人、日本で十一万四千人が毎年死亡と警告している。環境や食の安全について意識の高い日本国民が、かくも危険なたばこ

に寛容なのは不可解だ。だが、同条約第六条には「受動喫煙の防止」を定めた健康増進法が五年前に施行され、やや状況は改善した。しかし業界の「自主」規制は、ほとんどがFCTCという外圧があつたことといえる。同条約第一六条にある未成年への販売禁止順守のため、たばこ業界は、たばこ自販機を廃止すべきと考えるが、今回、成人にのみ発行されるカード識別自販機を九百億円もかけて導入した。

最近、たばこ一箱千金禁煙化が全く遅れている。行政は「分煙」の指

に寛容なのは不可解だ。だが、同条約第六条には「受動喫煙の防止」を定めた健康増進法が五年前に施行され、やや状況は改善した。しかし業界の「自主」規制は、ほとんどがFCTCという外圧があつたことといえる。同条約第一六条にある未成年への販売禁止順守のため、たばこ業界は、たばこ自販機を廃止すべきと考えるが、今回、成人にのみ発行されるカード識別自販機を九百億円もかけて導入した。

最近、たばこ一箱千金禁煙化が全く遅れている。行政は「分煙」の指

## 県は禁煙条例の制定を



その・じゅん 1949年、尼崎市生まれ。75年京都大学医学部卒業。現任、西宮市保健所長、日本公衆衛生学会評議員、元勤務市立中央病院で敷地内にタバコ殺院う。

空気清浄機は、たばこ煙の96%を占めるガス成分は素通りさせ、フィ

「たばこ一箱千金禁煙化が全く遅れている。行政は「分煙」の指

一方、神奈川県では、知事が「公共の施設等における禁煙条例」の制定を

「たばこ一箱千金禁煙化が全く遅れている。行政は「分煙」の指

違反に対する過料も絶対に必要な。健康増進法には罰則がなく、施行五年後の今もレストランな

「たばこ一箱千金禁煙化が全く遅れている。行政は「分煙」の指

刻たりとも休めない。受動喫煙防止は「たばこ禁煙法を改正し、未成年の受動喫煙防止も罰則付

「たばこ一箱千金禁煙化が全く遅れている。行政は「分煙」の指

# 論

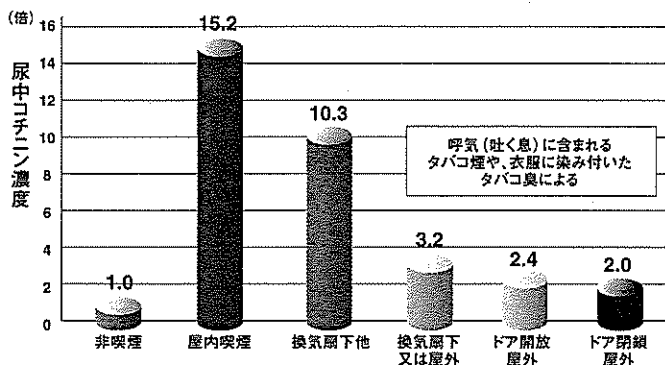
# さわやか禁煙プレゼント

## 換気扇の下やベランダでの喫煙も危険

タバコは喫煙者本人だけでなく、周囲の人々にも健康被害をもたらします。

周囲の人々が吸わされるタバコの副流煙は、喫煙者が吸い込む主流煙より、なお危険です。主流煙を1とすると、副流煙では、アンモニアが46倍、一酸化炭素は47倍、タールは34倍、ニコチンは28倍も含まれています。シックハウス症候群の原因になるホルムアルデヒドも、多く含まれています。

「大丈夫、換気扇の下やベランダで吸っているから」と思っておられる方は、図をご覧ください。非喫煙者の受動喫煙被害は、ニコチン代謝物である尿中ニコチン濃度で推定できます。子どもの尿中ニコチン濃度は、非喫煙者家庭を1とすると、屋内喫煙者家庭では15.2倍、屋外又は換気扇の下では10.3倍、屋外喫煙でも2.4倍です。副流煙だけでなく、喫煙者の呼吸（吐く息）や、衣服についた臭いも有害であることが分かります。



Johansson A, et al. Pediatrics 113:291, 2004.

## 車中での喫煙も危険

禁煙席と喫煙席が分けられたレストランも、オシッコが出来るレインがあるプールと同じことです。空気や水は繋がっているのです。ゾーンを分けても意味がありません。完全禁煙のレストランを利用しましょう。また空気清浄機は、タバコの煙の96%を占めるガス成分を素通りさせるので、受動喫煙対策には失格です。

今年、世界保健機関(WHO)は、世界禁煙デーの標語に「室内は完全禁煙に」を選びました。室内は完全禁煙しかありえないのです。人間は呼吸をせずには、一刻も生きていきません。家庭内の空気を汚すタバコは、家庭内暴力であり、子どもにとっては児童虐待です。同様に車の中での喫煙も論外です。

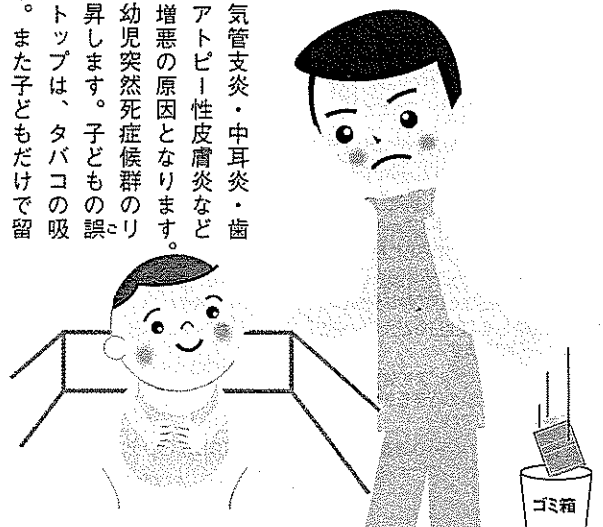
## 子どもの病気・事故と受動喫煙

大人のタバコは、子どもの受動喫煙被害を引き起こし、気管

支喘息・気管支炎・中耳炎・歯肉着色・アトピー性皮膚炎などの発症や増悪の原因となります。また乳幼児突然死症候群のリスクも上昇します。子どもの誤嚥事故のトップは、タバコの吸い殻です。また子どもだけで留守番中に発生した火事の多くが、ライターでの火遊びです。親が喫煙者でなければライターもなく、火事も起こらなかったと思われると思います。

## さわやか禁煙プレゼント

タバコは「百善あって一利なし」で、ご自分と周囲の方の人生を曇らせます。子育ては、タバコのない、さわやかな環境で行いましょう。喫煙者の方は、子育てを機に、ご家族やご自分の人生のために禁煙しましょう。ご自分では無理な方は、禁煙外来(日本禁煙学会のHPに掲載)や、薬局で相談してください。タバコのない環境は、お子さんの人生にとって、どんな高価な物よりも、素晴らしいプレゼントになることでしょう。

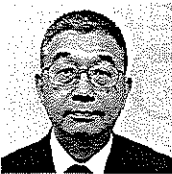


### プロフィール

解説・指導  
そのじゅん  
園 潤先生

西宮市保健所所長、NPO法人日本禁煙学会理事、兵庫県喫煙問題研究会副会長、京都大学医学部卒業、元心臓血管外科医、2007年WHO世界禁煙アワード受賞。モットーは「タバコのない社会を」、著書に「モク後モク視せず〜病院でタバコと戦う」(神戸新聞総合出版センター)

日本禁煙学会 <http://www.nosmoke55.jp/>



# 県タクシー協会の全車禁煙化

日本禁煙学会理事 園 潤氏

今日(10)日の兵庫県タクシー協会に加盟する法人タクシーの全車禁煙が県内全域でスタートした。これを受けて、医師で日本禁煙学会の園潤理事が寄稿した。

11月1日より、県タクシー協会の全車禁煙化が実施された。全国47都道府県の間では37番目とのことで、遅い実施ではあるが心から歓迎したい。

受動喫煙の原因となる副流煙の「たばこ」英語では「セカンドハンド・スモーク」(第2の煙)といわれ、喫煙者が吸い込む第1の煙よりも、「ニコチン」や「タール」一酸化炭素のすべてが数倍以上含まれている。また、シヤン化合物やホルムアルデヒド、トルエン、ベンゼン、フタン、鉛など有害物質が含まれており、健康増進法で受動喫煙の防止が規定されたのは当然だ。

日本も批准し、2005年に発効した「たばこ規制に関する世界保健機関枠組条約」(FCTC)の「第8条」(たばこの煙)を削減するよう求める。乗客の健康が規定されている。タクシーだけでなく、レストランを含むすべての職場を禁煙化し、サービス業の職員も職場での受動喫煙被害から保護しなければならぬ。

最近「セカンド・スモーク」第3の煙(残留たばこ臭)の有害性も注目されている。たばこを消した後も残っている。

## 「残留たばこ臭」もなくそう

### 乗務員の禁煙に期待

いる。壁や天井にこびりついた有害成分や、喫煙者の呼吸や衣服から漂う、いわゆる「たばこのヤニ臭」の正体である。密室内のタクシー車内には、今まで多量のサードハンド・スモークが残り、頭痛、気分不良、嘔吐や狭心症の発作誘発などの原因となっていた。

喫煙家庭の子どもの尿中のニコチン代謝物濃度は、非喫煙家庭の15倍にも上るといふデータもある。受動喫煙防止に注意し、完全に戸を閉めてクルマ内で喫煙する家庭の子どもからも、2倍の濃度が検出されており、サードハンド・スモークの害を示している。

タクシー全車禁煙化は大歓迎であるが、喫煙乗務員の服や髪の毛、口臭などに付着するサードハンド・スモークは、今後も課題として残っている。

これからはタクシーを呼ぶ際に「たばこを吸わない運転手さんをお願いします」と思う。安全快適に乗客を運ぶ使命を果たすため、また何より乗務員の健康のためにも、これを機にタクシー乗務員の禁煙化が進むことを期待する。



その・じゅん

1949年、尼崎市生まれ。75年、京都大学医学部を卒業、神戸市立中央市民病院などで心臓血管外科医として勤務し、現在、西宮市保健所長。兵庫県喫煙問題研究会副会長、日本公衆衛生学会評議員も務める。2007年には、世界保健機関(WHO)世界禁煙デー賞を受賞。

運転手も車内禁煙歓迎

1日からタクシーが禁煙になりました。私は吸わないので、今まで車内のお客さんの煙に困ってたんです。特に、女子大生。毎回、ようけ乗ってきて、大学までのたった5分ほどの間に、めっちゃくちゃ吸うんです。そろそろいいもの。

これからは、どんどん喫煙してる人を注意できます。これで私も少し長生きできそうです。(神戸・北、タクシー運転手、男、56)

2009年(平成21年)11月13日 金曜日

2009年(平成21年)11月14日 土曜日

神 戸 新 聞

神 戸 新 聞 (夕刊)